

授業科目名	保育実習指導 I	担当教員名	森下 真由美 / 山下 智佳子
科目区分	教職・保育に関する科目	施行規則に定める科目区分 等	保育実習
必修・選択/単位数	必修 / 2単位 (30時間)	授業方法/担当形態	演習 / オムニバス
開講学年/学期	1年 前期/後期 (2-3期) / 年間開講数 1講座	特記事項	※実務経験のある教員等による授業 保育士として長年にわたる実務経験を活かして、具体的な実践記録を紹介して授業を行っている。/児童相談所で児童福祉司として従事したほか、福祉事務所や社会福祉協議会での実務経験を活かして、具体的に実践的な授業を行っている。
授業の概要 及び 全体目標	保育士の資格を取得するための必修科目である。保育実習の目的、内容、方法を理解し、実習生として必要な知識・技術を習得し、実習に対する意欲を高める。事前指導においては、実習における学びを有意義なものとするために、保育所、施設実習の意義・目的を理解するとともに、実習の内容を理解し、自らの課題を明確にする。また、観察や記録の仕方、内容などについても学習する。事前事後指導においては、実習の総括と自己評価を行い、新たな課題や学習目標を明確にする。 【施設実習】 保育実習（施設）の目的、内容、方法を理解し、実習に必要な知識や技能を身につける。 施設実習を振り返ることを通して、自己課題を明確化し、学びを定着させる。 実習での経験と学内での学びを統合させる。		
到達目標	(1)保育実習の意義・目的を理解する。 (2)実習の内容を理解し、自らの実習の課題を明確にする。 (3)実習施設における子どもの人権と最善の利益の考慮、プライバシーの保護と守秘義務等について理解する。 (4)実習の計画・実践・観察・記録・評価の方法や内容について具体的に理解する。 (5)実習の事後指導を通して、実習の総括と自己評価を行い、今後の学習に向けた課題や目標を明確にする。 【施設実習】 1.児童福祉施設（保育所を除く）の役割や機能を理解する 2.保育・養護の計画、観察、記録および自己評価などの方法について具体的に理解する 3.施設実習にあたり、自らの課題が設定できる 4.実習後は、施設実習を振り返り、成果と自己課題を明確化する		
テキスト	「実習ハンドブック」大阪教育福祉専門学校編者		
参考書・ 参考資料等	「平成29年告示 幼稚園教育要領 保育所保育指針 幼保連携型認定こども園教育・保育要領 原本」（株式会社チャイルド本社） <森下> 『月刊 保育とカリキュラム』(ひかりのくに) 『よくわかる保育所実習』(創成社) 新聞記事 等 <山下> 授業内で適宜紹介、配付する。		
成績評価の方法	<森下> 出席状況と授業の取り組み姿勢、提出物の内容等により総合的に評価 <山下> 授業参加態度、提出物の内容、発表内容等により総合的に評価		
授業外（事前・事後）学習の方法、オフスアワー等	<森下> 事前・事後学習については授業中に指示します。 質問等は毎時間の受講カードによってフィードバックを行う他、授業終了後に研究室で受け付けます。 <山下> 事前学習・事後学習については授業時に指示します。 「実習ハンドブック」は熟読しておきましょう。 また、教育実習・保育実習（保育所）を振り返ることで、自己課題を明らかにし、施設実習に活かしましょう。 オフスアワー：授業終了後（研究室）		
授業計画	授業の内容	到達目標番号	
第1回	事前指導①（1年次・保育所） ※資料参照 保育所とは(保育時間・保育年齢・職員・遊びと生活等) 実習の意義・目的を理解し、実習内容を把握する 保育所の役割と保育所保育の特性(保育において大切にしたい事)	(1),(2),(3)	
第2回	事前指導②（1年次・保育所） ※資料参照 実習記録の記入の実践 保育用語確認 設定保育指導計画について	(4)	
第3回	事前指導③（1年次・保育所） ※資料参照 子どもの生活と実習のポイント（プライバシー保護と守秘義務について、実習内容の理解） 実習オリエンテーションに際しての心構え 実習事前チェックシート確認 実習研究課題について	(3),(4)	
第4回	【幼児コミュニケーション I ①】 保育実践（絵本の読み聞かせ・手遊び）		
第5回	【幼児コミュニケーション I ②】 保育実践（集団遊び・リズムあそび） ※ホール使用		
第6回	【幼児コミュニケーション I ③】 実習巡回担当者との顔合わせ "あなたならどうしますかアンケート"より注意事項確認		
第7回	事後指導①（1年次・保育所） 保育現場での子どもの実際と保育者のかかわりについて 実習配属クラス別グループ討議を通して振り返る	(5)	

授業計画	授業の内容	到達目標番号
第8回	事後指導②（1年次・保育所） 保育現場での子どもの実際と保育者のかかわりについて 実習配属クラス別発表 それぞれの保育現場において大切にされている事から学び合う 学びから実習生としての次回への課題 実習事後自己反省及び自己評価 記入 実習記録提出 お礼状についての確認	(5)
第9回	事前指導①（2年次・保育所） ※資料参照 保育実習の意義・目的を理解し、実習内容を把握する 実習記録記入について理解を深める 研究課題について 質問事項の確認	(1),(2),(3),(4)
第10回	事前指導②（2年次・保育所） ※資料参照 実習に行くにあたっての注意事項の確認 設定保育指導案作成 実習研究課題について	(4)
第11回	事後指導①（2年次・保育所） 実習生として学んだことを振り返り、次回に向けての課題確認 実習事後自己反省及び自己評価記入 実習記録提出	(1),(2),(5)
第12回	事前指導①（3年次・施設） オリエンテーション/施設実習の意義と目的 見学実習に向けてのガイダンス	1
第13回	事前指導②（2年次・施設） 児童福祉施設について 施設実習の心得と方法	1,2
第14回	事前指導③（2年次・施設） 乳児院・児童養護施設について 施設での子ども+AG164+AH164	1
第15回	事前指導④（3年次・施設） 障害児入所施設・児童発達支援センターについて 施設での子どもの生活と療育を理解する	1
第16回	事前指導⑤（3年次・施設） 日課表の作成 施設実習の課題設定	1,3
第17回	事前指導⑥（3年次・施設） 施設実習の記録の書き方	1,2
第18回	事後指導①（3年次・施設） リフレクションシート作成・グループ討議	4
第19回	事後指導②（3年次・施設） 施設実習のまとめ・グループ発表	4